

渡邊萬次郎賞
渡邊萬次郎賞第25回受賞者

湊 秀雄 会員

湊 秀雄会員は、鉱物化学から資源地質学や応用鉱物学にわたる広い研究分野において永年に渡って活躍し、関連学会はもとより、大学の地学教育や、産業界への貢献においても顕著な業績を残した。

1950年代～60年代にかけては、新鉱物 Parasymplesite の分類学的研究、堆積性褐鉄鉱床に伴うスコロド石の地球化学的研究、熱水変質の実験地球化学的研究など、フィールドワークと実験室でのキャラクター化を緊密に連携させる事によってユニークな成果を挙げた。化学分析は基本的に古典的湿式法に頼らざるを得なかったが、鉱物の不均質性への問題意識から、局所分析、微量試料による迅速分析など独自の技術開発にも力を注ぎ、すこしでも議論の精度を高める努力を惜しまなかった。

これと平行して、学術振興会の鉱物新活用委員会などにおいて、鉱物学の社会への応用のために尽力され今日に至っている。その間、1970年から1997年までは委員長として、産学官界から多くの人材を集め、鉄鉱スラグの活用、沸石や粘土の活用などをはじめとする様々な課題に取り組み、国際的評価を大いに高めた。沸石族鉱物の有効活用については、沸石岩を用いたポータブル酸素発生装置の開発、有害物質遮蔽のためのシール材の開発などの先駆的な業績により著名である。湊会員が取り組んだ、鉱物の特性を環境浄化などに応用する継続的努力は、国際環境地質工学会から Outstanding participation to the International Society of Environmental Geotechnology 表彰を(2002年7月)、また国際天然ゼオライト会議からは功労賞として表彰を受けている(2006年7月)。さらに、チェコのナショナルクレイグループからは名誉会員の称号を授与されている(2008年9月)。

教育の面では、東京大学理学部および教養学部で、鉱物学や地球科学、あるいは応用鉱物学を担う幾多の人材の育成にあたり、兵庫教育大学に移ってからは学校教員の教育力向上のために多大の貢献を行った。この間、業務の重責と多忙なスケジュールに制約されながらも、寸暇を惜しみ世界を股にかけてフィールドワークに出向き現場観察とサンプリングに勤しんだ。研究室では、夜が更けるまで自ら顕微鏡観察と化学分析の実務をこなし、常にオリジナルデータを生産する事にこだわった。研究においては、論考に必要なデータは自らの努力で集めるという一貫したポリシーがあり、その真摯な姿勢は多くの後進に大きな影響を与えた。

研究、教育、社会貢献への情熱は、多数の研究論文の他、「原色鉱石図鑑」保育社(1963年/共著)、「地球人の環境」東京大学出版会(1977年/共著)、「砒素をめぐる環境問題—自然地質・人工地質の有害性と無害性」東海大学出版会(1998年/監修執筆)、「天然ゼオライト利用に当たっての品質評価基準」(日本学術振興会鉱物新活用第111委員会2006年刊/監修執筆)、「宝石の世界」日貿出版(1974年/翻訳版監修)、「粘土ハンドブック」技報堂(1966年/日本粘土学会編/編集幹事)等の書籍として出版され広く活用されている。

以上のような数多くの業績に対し、湊秀雄会員を渡邊萬次郎賞第25回受賞者として推薦する。

湊 秀雄会員の略歴

- 1921年(大正10年) 生まれ
- 1942年(昭和17年) 東京帝国大学理学部鉱物学科入学
- 1945年(昭和20年) 東京帝国大学理学部鉱物学科卒
- 1949年(昭和24年) 東京大学教養学部講師
- 1950年(昭和25年) 東京大学教養学部助教授
- 1952年(昭和27年) 東京大学より理学博士の号を受ける
- 1954年(昭和29年) 東京大学理学部講師併任
- 1970年(昭和45年) 東京大学教養学部教授
- 1980年(昭和55年) 東京大学定年退職/東京大学名誉教授
- 1981年(昭和56年) 兵庫教育大学教育学部教授
- 1987年(昭和62年) 兵庫教育大学定年退職/兵庫教育大学名誉教授
大学入試センター客員教授
- 1995年(平成7年) 叙勲、勲三等旭日中綬賞
- 1970年(昭和45年)～1997年(平成9年)
日本学術振興会 鉱物新活用委員会委員長
- 1973年(昭和48年) 日本粘土学会副会長(2ヵ年)
- 2002年(平成14年) 国際環境地質工学会 “Outstanding participation to the International Society of Environmental Geotechnology” を受賞
- 2006年(平成18年) 国際天然ゼオライト連合(INZA) “2006 Frederick A. Mumpton Award for outstanding Contributions to Natural Zeolites” (功労賞)を受賞
- 2008年(平成20年) チェコ共和国ナショナルクレイグループから名誉会員称号を受ける

平成20年度渡邊萬次郎賞選考委員会
委員長 藤巻 宏和